

いつも青い炎でお使いください。



■ガスをお使いのときは、炎は必ず「青い炎」でお使いください。赤っぽい炎は、不完全燃焼をしている炎です。

点火・消火は必ず目で確かめてください。



■ガス器具の近くに、燃えやすいものは置かないでください。

■風や煮こぼれで火が消えたり、天ぷらを揚げているときに、鍋の中の油に火が着くことがあります、たいへん危険です。ガスを使っているときは、その場を離れないようにしてください。

※立消え安全装置や過熱防止装置など、安全装置付きのこんろをおすすめします。

ガス栓は、使用時には全開で、使用後は完全に閉めてください。

■ガスをお使いになるときは、ガス栓を全開で、お使いにならない場合は、完全に閉めてください。

また外出するときやおやすみ前には、ガス栓、器具栓が閉まっていることを確認してください。



■使用していないガス栓には、必ずゴムキャップをつけてください。



■長期間ご不在になるときは、容器バルブを閉め、LPガス販売店にご連絡ください。



■配管やガス栓をアースの代わりに使用しないでください。

お願い!ガス器具のお手入れ

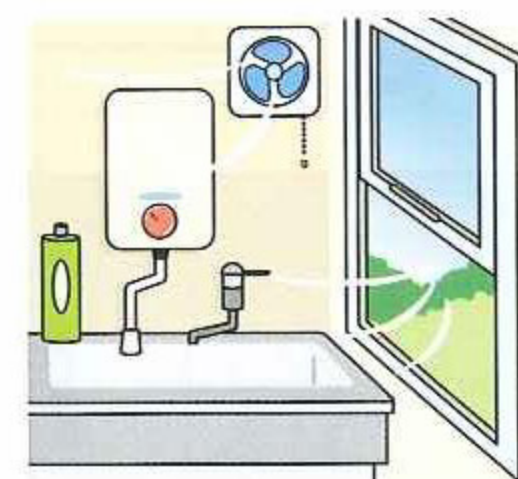
ガスこんろなどの目詰まりは、不完全燃焼の原因となります。ときどき器具ブラシなどで掃除をしてください。ガス器具のお手入れなどで、ネジなどを取りはずす必要がある場合は、ご自身でお手入れせずに、必ずLPガス販売店へご連絡ください。



LPガスを正しく使って、いつも安心。

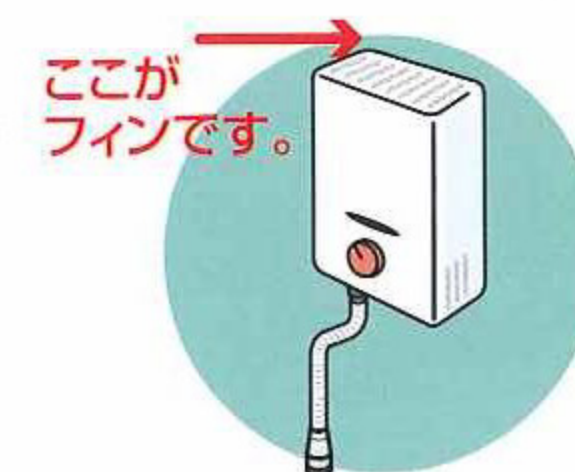
換気に注意してください。

■室内でガス器具を使用するときは、換気扇を回したり、ときどき窓を開けて十分に換気をしてください。



※ガスが燃えるためには、たくさんの空気を必要とします。換気が十分に行われしないと、酸素不足や室内に排ガスが充満して不完全燃焼を起こし、有害な一酸化炭素(CO)を発生する恐れがあるため、たいへん危険ですので、十分な換気をしてください。

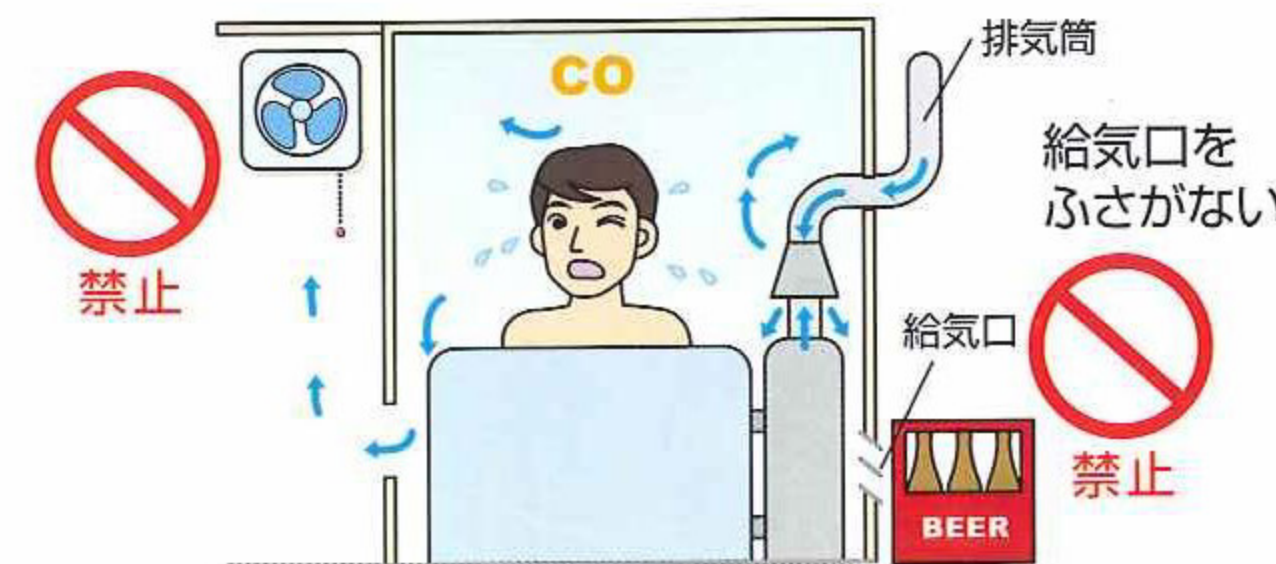
■排気のフィンが埃などで目詰まりしていないか確認してください。



■小型湯沸器は長時間使用しないでください。

●下のような自然排気式のふろがまを使用するときは、換気扇を使用しないでください。(排ガスが逆流して一酸化炭素(CO)中毒を起こすことがあります。)

※給気口はふさがらないでください。



●排気筒が壊れていたり、鳥の巣などでふさがれてしまうと適切な排気ができなくなります。こまめに点検しましょう。

ゴム管はときどき点検し、早めに交換してください。

■ひび割れなどが発生しているゴム管は使用しないでください。

※ゴム管からのガスもれは、石けん水を塗り泡が出るかで分かります。(泡が出た場合はすぐに新しいゴム管に取替えてください。) また点検後はきれいに拭き取ってください。

■ゴム管は、ガス栓の赤い線のところまで差し込んで、ホースバンドでしっかりとめてください。

■ゴム管は長くしたり、物かげを通したり、折り曲げたりしないでください。

■三つ又は危険なので、絶対に使用しないでください。



ガスもれ防止のため、湯沸器やふろがまなどの固定式燃焼器とガス栓の接続にゴム管を使用することは禁止されています。直接ねじ接続するか、左のようなねじ接続の専用ホースで接続してください。

安心・安全のための点検・調査にご協力ください。

皆さまの安心・安全のため、保安機関としての認定を受けたLPガス販売店または販売店から依頼を受けた保安機関が、液化石油ガス法にもとづき、次のような点検・調査を行います。ご協力をお願いいたします。

- ①【容器交換のつど】 LPガス容器・調整器・容器バルブ・ガス供給管などの外観点検。
- ②【1年に1回以上】 地下室等の配管からのガスもれ調査など。
- ③【4年に1回以上】 調整器の機能点検、配管のガスもれ調査、ガス機器や給排気設備等の調査など、ガス設備全般についての点検・調査。

※点検・調査の結果、改善を指摘された設備については、改善や器具の交換などにご協力ください。

※現在、LPガス事故撲滅を目指し、全国一斉LPガス保安高度化運動を実施しております。